

会 議 議 事 録

						記録者 鈴木純司
決 裁	教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐・GL	グループ員
件 名	令和6年度 第1回 歴史民俗資料館運営審議会議事録					
日 時	令和6年7月17日(水) 午前10時00分～午前11時00分					
場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2階 多目的室					
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課					
出席者	<p>【委 員】酒入 陽子 委員、堤 利明 委員、雑賀 史 委員、秋山 卓也 委員、 小野 威人 委員、由波 俊幸 委員、佐藤 正好 委員、飯島 進 委員、 塚本 裕 委員、沼田 公美子 委員</p> <p>【事務局】大古教育長、松崎課長、油原課長補佐、森田課長補佐 由利係長、飯野主幹、記録者</p>					
内 容	<p>1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 議長選出 6 議長あいさつ 7 議 事 ・議案第1号 令和5年度歴史民俗資料館事業報告について 8 閉 会</p>					
事務局 (森田)	(開会)					
教育長	(あいさつ)					
事務局 (森田)	<p>(委員の紹介) (事務局紹介) (議長選出) 歴史民俗資料館設置管理条例施行規則第16条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、この後の議事進行を酒入委員長にお願いいたします。</p>					
議長	<p>(あいさつ) 議事録署名人として議長本人と飯島委員を指名。</p>					
委員	(各委員「異議なし」)					

議長	議案第1号「令和5年度歴史民俗資料館事業報告について」事務局の説明を願います。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
塚本委員	①以前から資料館ボランティアの人数が減っていて、館の運営にボランティアの力を借りるのに苦労していると聞いていますが、人数はまだ増えていないのでしょうか。 ②資料によると来館者数が1日平均で80人ということで、この数については資料館の方々が頑張られているな、と感じました。 ③資料の保管スペースや展示スペースは十分に確保できているのでしょうか。 以上のことをおうかがいしたいと思います。
事務局 (油原)	まず③の収蔵スペースについてお答えします。当館には古文書を保管する第1収蔵庫、民具・農具を保管する第2収蔵庫、特別なものを収蔵する特別収蔵庫の3つの収蔵庫があります。例えば第2収蔵庫では当地域が農業が盛んである関係で、唐箕のような大物を含む農具を多く収蔵しておりスペースが足りていません。博物館としては展示用、調査用、保存用の3つ同じ道具を収蔵できれば良いという考え方があり、市民の方から寄贈の問い合わせも受けるのですが、物によってはお断りしている状況です。屋外の展示スペースも収蔵スペースとして活用しているのが実情です。
塚本委員	資料館としては、もっと収蔵スペースを増やして、展示内容も充実していきたいという方向性なのですか。
事務局 (油原)	そういう思いはあるのですが、場所がない状態です。
塚本委員	土地はまだあるようなので、建物を建てれば良いのではないのでしょうか。
事務局 (教育長)	現在新たに建物を建てるのは難しい状況です。市内の遺跡から発掘された遺物を保管している、龍ヶ崎小学の敷地内の仮屋や、市内の施設(小学校や給食センターなど)の統廃合に伴いできる空きスペースなどをあわせて活用していきたいと考えています。
塚本委員	ありがとうございます。
事務局 (森田)	①の資料館ボランティアの人数についてですが、コロナ禍もあり減少していたところですが今年の3月に募集を行った結果、去年は16名でしたが現在23名となりました。今後は事業を展開していけるよう、適宜募集を行っていきたいと考えております。 ②の入館者数についてですが、R5年度での1日当たりの平均入館者数をみると60名となっており、減少傾向にあるといえます。資料館としては、かつての80名という平均入場者数に近づけるよう企画展示などで努力をしていければと考えています。
沼田委員	9ページの(5)「小学校見学学習支援」についてです。市内全11小学校が利用した、とのことですが、市内の小学校の生徒数を調べると、今年度の数字ですが3年生が490人くらいです。これが牛久市では693人、阿見町では427人となっています。 現在職員さんは頑張っている、こういう施設は入館者数で評価される傾向があると思います。現在子どもの数が減っているので、龍ヶ崎市だけではなく、近隣の市町村にもこのような施設や事業があることを宣伝していかないと入館者数が増えないと思います。子どもの来館者が増えると、家族の来館者も増えるので、例えばこれから夏休みに向けて学校に対して、調べ物や自由研究でぜひ資料館に来てください、というような宣伝を流すというのはいかがでしょうか。

事務局 (油原)	<p>小学校見学については、R4年度にコロナが落ち着いたころから再び市内の小学校に通知文を送付しています。以前は市外の学校にも通知を行っており、見学シーズンである1月・2月の間、平日は毎日小学校見学の対応をしていたこともありましたが、最近ではコロナの関係もあり積極的に市外の学校に通知は出していませんでした。</p> <p>また、夏休みに関して、今年は今度開催する「撞舞写真展」のチラシを市内の小中学校に配布しています。以前は夏休み中の自由研究に関する広報も行っておりましたが、最近では自由研究で来館される人も少なくなっています。やはり沼田委員のご指摘の通り資料館は入館者数で評価される場所があります。そんな中市内の子どもの数も減っていますので、今後市外も含めて積極的に広報活動を行っていきたくと考えておりますので、ご協力よろしくお祈いします。</p>
雑賀委員	<p>小学校では3年生で「昔の道具」という学習を行います。また、資料の3ページにあります「ナガサキ原爆写真パネル展」のような展示に関しては、社会・歴史の時間で行われる戦争を扱った学習とつながってきますので、そういう時に見学などできるような体制づくりをしていけたらと思います。</p>
秋山委員	<p>広報活動という点でいいですよと、今回全児童・生徒に配布されたということですが、学校では今色々なお便りでデジタル配信を利用しています。これは学校から、あるいは教育委員会から市内の全家庭に配信できますので、活用されてみてはいかがでしょうか。</p>
小野委員	<p>私のほうから2点ございます。①前回の審議会の際にも話題になりましたが、中止になったイベントがいくつかあります。個人的には以前昔の商店街のチラシを展示する、という企画があったかと思いますが、そういった魅力ある企画の掘り起こしを検討していただければ、と思います。もちろん前回言ったようにあまりイベントが多すぎると、職員の負担になりますので内容は精選してください。</p> <p>②入館者数について私の取り組みをお話しします。私は龍ヶ崎市街歩き実行委員会の委員長も務めております。市の公共交通活性化協議会とともに9月23日に街歩きを企画しています。今回は資料館の滞留時間を増やすために見学時間を長くしようと考えております。</p>
事務局 (油原)	<p>小野委員からの、①中止になった事業について、企画展示は職員個人の調査研究によるものが比重が多いです。小野委員がおっしゃった商店街のチラシにつきましては、担当していた職員が移動したため中止となりました。この度その職員が戻ってきましたので、調査研究を継続して発表できるよう指示したところです。来年あるいは再来年には展示できると考えておりますので、その折はぜひご来館ください。</p> <p>秋山委員からお話のありましたデジタル配信につきましては、ちょっと不勉強で存じ上げなかったのですが、ペーパーレスにもなりますので、一度文化・生涯学習課と調整したうえで活用していきたいと考えております。ご助言ありがとうございます。</p>
事務局 (松崎)	<p>事務局のほうで調整したいと思います。</p>
佐藤委員	<p>今の件でよろしいでしょうか。教育長に申し上げたいのですが、資料館はWi-Fiが入っていないです。私は時々ここで仕事をしていますが、唯一ここだけがWi-Fiが入っていないので不便です。デジタル配信とかいっても元がなければできないと思います。多額の費用が掛かることではないので、お願いいたします。</p>
事務局 (教育長)	<p>Wi-Fiにつきましては、市内の施設でも順番に進めている状況です。庁内は早く進むのですが、外の施設は遅くなってしまいますので、良くない状況とは考えています。機会を見て調整していきたいと考えています。</p>
佐藤委員	<p>職員の皆さんも、がんばっているののでなるべく早くお願いしたい。</p>

議長	最近はいろいろな博物館で Wi-Fi を活用しています。今は若い方は Wi-Fi がない施設に来てくれない様に感じます。
事務局 (教育長)	資料館などでは QR コードを読み込むことで展示解説を見ることができる、という活用方法が考えられますので、そういう内容で進めて行けるよう調整していきたいと考えています。
事務局 (森田)	Wi-Fi 環境につきましては、市内の施設は茨城フリーWi-Fi を利用して随時整備を進めてきたところ です。設置につきましては設置費用や経常的な費用もかかってくると思いますので、そういったことも含めて市のデジタルを担当しているデジタル都市推進課と調整、協議していきたいと思います。
事務局 (教育長)	年次の計画で進めていることですので、それを飛び越えるのはなかなか難しいです。
由波委員	最初のほうで収蔵庫の狭隘化に関してご質問がありましたので、これについてお聞きします。ここ数年間で収蔵資料数がどのくらい増減したのか、具体的に言うどのくらい寄贈・寄託の申し出があり、その中からどれだけ資料を受け入れたのかを教えてください。私の勤めている県立歴史館も、ここ数年で少子高齢化やコロナ禍、代替わりが進んだこともあり、寄贈の申し出が増えてきています。しかし我々も収蔵庫の狭隘化に悩んでいるような状況なので、龍ヶ崎市ではどうしているのかなと思ひまして、お聞きしました
事務局 (油原)	申し訳ありませんが、収蔵品の点数は、算出しておりませんので今お答えすることはできません。当館でも寄贈・寄託の申し出を受けましても唐箕のような大物はお断りしています。それ以外のものと現場に赴いて確認をして、珍しい物などは寄贈を受けてもそうでないものはお断りしたり、資料館に処分を任せてもらおうという形をとったりしています。収蔵品の点数などの数字につきましては、後日回答したいと思います。
議長	議長から失礼いたします。良く学校の空き教室に民具が展示されているのを見聞きますが、寄贈される品物について、そのような形で連携することはできないでしょうか。ご意見よろしくお願ひします。
小野委員	私が知っている状況でいいますと、龍ヶ崎一高は歴史が長いので多くの寄贈されたものが、社会科室で展示をされていたり収蔵されたりしています。また講堂という昔建てられた建物は収蔵庫として使われています。 ただ、どこの学校でも空き教室はいろんな形で活用しているので、その中で資料館の収蔵品を受け入れるのは厳しいのではないかと思います。
事務局 (教育長)	今から40年くらい前には、各学校に社会科資料室というものがあつた、民具などが収蔵されていきました。その後当館が開館すると、授業で民具類が必要な時は当館を活用すれば十分足りる、ということでこのような社会科資料室は減っている状況です
佐藤委員	私も以前県立歴史館にいましたが、その時感じたのは学校の空き部屋や、教育長のおっしゃったような資料室に置いてありますと、資料が拡散するということです。管理する先生方が変わると責任感がなくなってしまうからです。こういう施設が学校にあるのは大事なことだと思ひますが、先生たちが責任を持って引き継いでいくという形をとらないと資料は散逸してしまうということを経験してきました。ですから空き教室の利用というのは難しい問題だと思ひます。
堤委員	私も学校を管理する立場でしたので、確かに学校によっては、古い道具が展示されても何年かたつとそれが利用されなくなるという結果になったりします。各学校でさらに資料を集めたりしても、担当の教員がきちんと管理しないとこういう結果になってしまいます。そのほかにも児童生徒数の減少などにより学校が閉鎖されたり、廃校になったりということも考えられます。個人的な体験ですが、今年地元の祭礼に携わりまして、その際に

	<p>縄をなう道具が必要になりました。以前は我が家にもあったのですが、今は無くなってしまっていたので地域を探し回りました。ですからどこかで民具等を保存していかなければならないと思います。</p>
事務局 (油原)	<p>民具の話は、資料館連絡協議会でも、空き教室に保存されている資料が、例えば取り壊しや空き教室を別のことに使うとき、または資料の保存状態が悪くてごみ化してしまっているときにどう廃棄したらよいか、という話題が取り上げられています。一つの種類のものが100点あれば、大変なコレクションとして展示も可能ですがなかなかそのような収集は難しいので、先ほども言いましたように最低3点という考えで保存していくしかないと考えています。我々資料館の職員としては、特徴あるものならなるべく取っておきたいと考えております。ですがそれは難しいことですから、資料の保存については、資料館というよりは市全体で考えるべき問題となっていると思います。</p>
議長	<p>収蔵スペースがいずれいっぱいになるというのはどこの博物館でも悩んでいることだと思います。当資料館では現状受け入れ段階での取捨選別で何とかなっているということですね。</p>
飯島委員	<p>今回も観光物産協会で開催しましたデジタルスタンプラリーにご協力いただきありがとうございます。今年度も参加者が増えるような企画を検討しているところですので、ご協力よろしくをお願いします。また小中学生に市の文化財を知ってほしいので、先ほどお話のありましたチラシ等のデジタル配信も行ってほしいと思います。</p> <p>もうひとつ、とんび凧と駄菓子屋が中止となったと報告がありましたが、今年度はどのように検討されているかをお聞きします。</p>
事務局 (油原)	<p>まず駄菓子屋についてですが、前回は資料館ボランティアの数が減って人員が確保できなかったため中止となりましたが、今年度はボランティアの人数も増えたことから、ふれあい広場を主催する龍ヶ崎ボランティア連絡協議会や社会福祉協議会、その他協力してくれるという団体などとも協議をしながら開催する方向で考えております。</p> <p>続きまして、とんび凧についてですが、昨年度は応募者が2人しかいなかったのので、とんび凧研究会が別に開催している教室のほうに移ってもらいました。凧につきましては、りゅうほーでもPRしていますし、当館に凧の版木があることから龍ヶ崎発祥であることを広く伝えたいと考えています。私も子どもの頃挙げた経験がありますので、そういう経験を持つ子どもが一人でも多いほうが良いと思いますので、今年度は事業計画にはあげておりませんが、なるべく早いうちに広報を出して、その分多くの参加者を求める形で、行いたい方向で考えています。</p>
飯島委員	<p>ありがとうございます。5月にたつのこやまで観光物産協会主催のとんび凧あげ大会を開催したときは、多くの子どもたちがとんび凧をあげていました。龍ヶ崎のとんび凧を皆さんに知っていただく機会を増やしてもらえればありがたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。それではほかにご意見、ご質問等ございませんか。ないようですので、こちら令和5年度事業報告について、みなさまご確認いただいた、ということで事務局の皆様には例年たくさんの行事がありますが、今日出たご意見を参考にしながら、事業を遂行していただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>(その他、撞舞写真展、まんが故郷の偉人「木村安兵衛」の刊行、について報告)</p>
議長	<p>以上をもちまして、令和6年度第1回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会を閉会したいと思います。皆さんご協力ありがとうございました。</p> <p>本日の議案は以上です。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。</p>

令和6年7月17日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

議事録署名人

議事録署名人